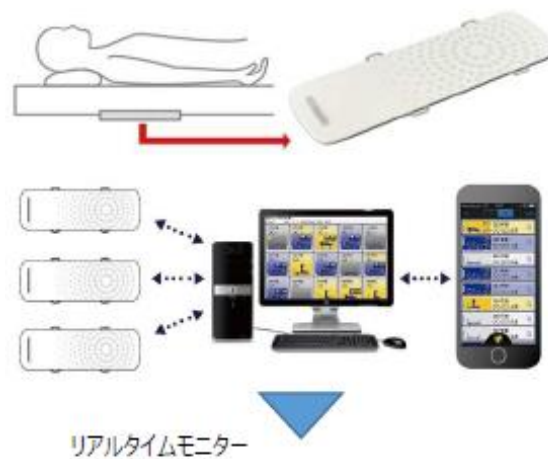


体動センサー導入について

鹿屋長寿園では近年、利用者様の重度化や看取り支援へ移行される方の増加に伴い、見回り業務の多忙化、職員の精神的負担の増加（特に夜間において）が課題となっていました。課題解決に向け、ICT・IOT技術導入を検討し、令和2年4月より見守り支援システムとして体動センサーを導入しました。

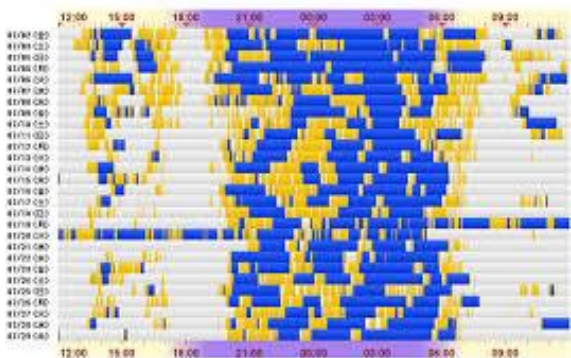
体動センサーとは・・・。

マットレスの下に設置したセンサーにより、体動（寝返り、呼吸、心拍など）を測定し、睡眠状態を把握します。体動センサーを活用することでケアプランの改善やスタッフの業務負担軽減、入居者の生活習慣の改善などに役立てることができます。

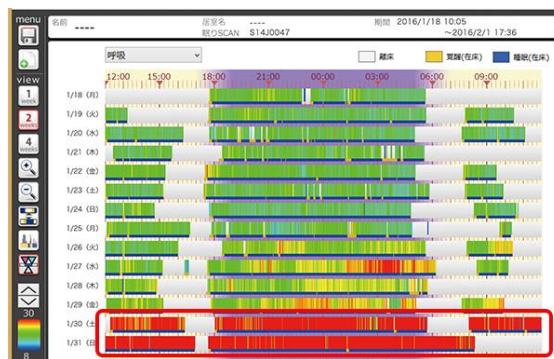


○マットレスの下にセンサーを敷き込むだけで測定できます。利用者様に直接触れない為、不快感はありません。測定の状態をパソコンや携帯端末等でリアルタイムに確認することができます。

○呼吸日誌



○呼吸日誌、心拍日誌



(職員の声)



・芝原 ももさん (ユニットマネージャー)

導入前は看取り支援中の方で状態が悪い方がおられる際、特に夜間帯においてですが、状態変化にすぐに気づけるように10分間隔で巡視をすることもあり、身体的にも精神的にも負担が多い状況でした。体動センサーを導入したことで呼吸状態や心拍数などが携帯端末で確認することが出来るようになったため、心の余裕が生まれ、安心して業務に就くことができるようになりました。

また覚醒検知機能も備わっているので、眠られている時にオムツ交換に入るのではなく、覚醒された際にオムツ交換に入ることで利用者様の安眠を妨げずに済むようになり、業務改善はもちろんですが、利用者様の生活の質の向上にも繋がっています。

今後も導入が進むことで、巡視回数の削減や重度化・医療ニーズの高い施設でも新人職員等がスムーズに夜勤業務に就けるようになることが期待できると思います。